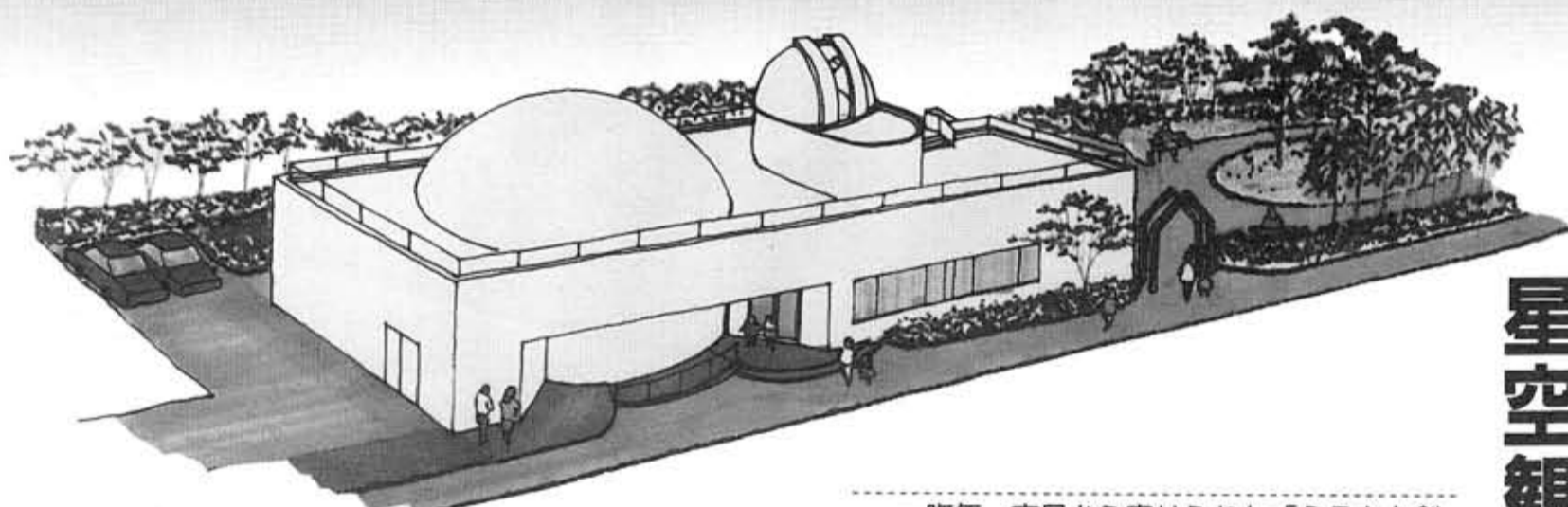


◎向日市民憲章◎

- 1 住みよいまちを力を合わせてつくりましょう
- 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
- 1 働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
- 1 すくれた教育と文化を育てましょう
- 1 明るいくらしと福祉のまちをきざみましょう



星空のロマンに 想いをよせて



向日アストロパークの完成予想図

向日アストロパーク 星空観測所建設に向け始動

一昨年、市民から寄せられた「ふるさと創生」アイデアの中から選ばれた、「星空観測所の設置(スターウォッチング星空の街)」をもとに、このほど向日アストロパーク星空観測所の建設事業として概要がまとまり公表されました。

向日アストロパークの建設計画は、青少年はもとより、広く市民のみなさんに気軽に利用してもらえる自然とのふれあいの場、そんな施設を目指して、平成5年5月5日(子供の日)のオープンに向け、いよいよ動きはじめました。



広く活用していただける施設

計画では、向日町南山のたえられる40センチクラスの向日神社境内の本殿南東部の敷地約千三百三十三平方メートルに、鉄骨造り一部2階建て延べ面積四百四十・八七平方メートルの星空観測所を予定しています。設備の主な内容は、アマチュア天文家の要求にもこたえられる大型天体望遠鏡をはじめドームの外周に観望テラス(ギャラリースペース)を設け、小型天体望遠鏡を数台設置します。また、ドーム型多目的研修室兼プラネタリウム室(定員八十人)もあり、プラネタリウムはもとより、コンサートや講演会など、いろいろなイベントにも利用でき、市民のみなさんに広く活用していただける施設



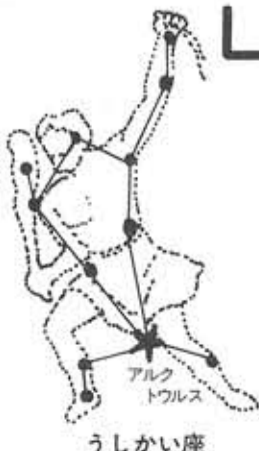
設となっています。

このほかにも、星空観測のために夜間利用が多くなるので、休憩・仮寝など兼ね備えており、子供達と親とが一緒になって星空を観測できる施設を計画しています。

魅力あるふるさとづくり「ふるさと創生」事業としての、この向日アストロパーク建設は、総事業費四億八千万円をかけ、平成五年五月五日(子供の日)のオープンを予定しています。

夜空に咲く満天の星のもと、自然とのふれあいを通して、この豊かな向日市の自然環境への関心を培い、さらには、心の安らぎを得ることのできる夢空間として、そのようなロマンに満ちた施設を目指して、向日アストロパーク・星空観測所の建設計画は進められます。

LET'S TRY スター・ウォッチング



うしかい座

初夏の星座
うしかい座をさがそう
ひしゃくの形に並んだ七つの星北斗七星は、みなさんもよくご存知でしょう。北斗七星は、ほとんど一年中北の空にみえ、他の星座を見つかる手がかりになります。この北斗七星のひしゃくのえのカーブにそって南にたどっていくと、うしかい座の一等星アルクトゥルスにとどきます。初夏の夜空の天頂付近を飾るうしかい座は、オレンジ色の一等星アルクトゥルスが目印です。日本では麦のかり入れのころ空高く輝くので、「むぎ星」ともよばれています。

昔の人たちは、夜星に輝く星々を線でむすんで、神話に出てくる人や動物のすがたをかたちを星空に想像して星座をつくりました。

私たちのまち向日市は、比較的大気汚染が少なく、星座の観測に適した環境で、環境庁から全国108市町村とともに「星空の街」としての認定を受けています。

うっとり梅雨のあい間におおぐ星空は、思わず新鮮な印象をあたえてくれることでしょう。降り落ちんばかりの満天の星のもと、ご家族ではらかな宇宙に想いをはせてみませんか。

